

平成30年度 事業計画

I 基本方針

わが国は、これまで経験したことのない人口減少・高齢社会に入っていこうとしている。平均寿命が男女とも80歳を超え、労働力人口の減少が一段と加速し、60歳以上人口が過去最高を更新し10年・20年先の風景を見据えて持続可能な高齢社会を作っていくことが必要である。現在は60・70歳代でも「生涯現役」を目指したいと考える高年齢者が増加傾向にある。政府の高齢社会対策大綱によると65歳以上を一律に高齢者と見る一般的な傾向は現実的なものでなくなりつつあると初めて明記し、これまでの政策をより柔軟な形に転換してエイジレス社会を目指すとしている。景気雇用情勢は国が積極的に取り組む経済政策によるプラス効果が波及しつつあるといわれるが地方においては更なる波及効果が待ち望まれている。

高年齢者労働能力有効活用のために地域社会の働き方・生き方改革に取り組む時代に差し掛かっていると思われる。地域のニーズや高齢者の多様な就業ニーズを的確に反映し様々な就業機会を提供するシルバー人材センター事業は、その機能を十分に発揮してもらいたいと考えられておりその役割に期待が示されている。また、本事業は高年齢者が定年等による現役引退後も、就労等を通じて臨時的・短期的又は軽易な就業を希望する者に対して地域社会の日常生活に密着した仕事を調査把握・提供し、多様な形態による就業機会の拡大・生きがいの創出・地域社会の活性化を目指している。福祉の受け手ではなく地域社会の担い手としての大きな役割がますます求められ、社会の一員として行政機関をはじめ各種地域団体及び民間事業所等との連携を深めながら共存・共栄していかなければならない。

地域における特性とそのニーズにマッチした就業機会拡大と会員増強拡大を図り、超高齢社会の中で地域に貢献できるボランティア活動や地域事業活動等の一役を担っていく体制づくりを進める。「自主・自立」「共働・共助」という基本理念を確立し、健康で明るく・生きがいを持ち充実した社会の実現を目指し就業活動だけではなく自ら積極的意志を持ち会員・役職員が一体となってその活性化に取り組み、地域ニーズに対応しながら効率的なシルバー人材センターの活力ある事業展開に努める。

II 事業目標

- (1) 就業機会開拓提供事業の推進と基本理念の周知徹底
- (2) 会員拡大確保、普及啓発の推進強化
- (3) 安全・適正就業の推進
- (4) 地域就業機会創出・拡大事業、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の推進

III 実施計画

1 就業機会開拓提供事業の推進と基本理念の周知徹底

シルバー人材センター事業は「自主・自立」、「共働・共助」を基本理念として会員が働く事を通じて自らの生きがいを創りだし、自己確立と地域貢献を目指す事業である。

- (1) 会員・役職員は常に基本理念を遵守する
- (2) 地域社会及び住民等全般にセンター事業の周知を図る
- (3) 新規会員拡大推進を目指し、センター事業と基本理念の周知徹底を図る
- (4) ボランティア活動推進等の積極的実施
- (5) 独自事業推進の取り組み

2 会員拡大確保・普及啓発の推進強化 一会員一新規会員獲得運動 シルバー事業の会員拡大と地域社会等への啓発活動を推進する。

- (1) 会員の高齢化が進む中、地域班会員主体による地域住民へのPRに努め、新規会員獲得の推進を図る
- (2) 幅広く地域の高齢者のための講習会等を開催し技能技術習得を目指す
- (3) 役員及び各委員会による基盤拡大対策を検討する
- (4) 広報誌等を活用し普及啓発による会員獲得充実を図る

3 安全、適正就業の推進

「安全はすべてに優先する」を合言葉として事故撲滅を目指す。

安全就業はシルバー事業の最優先課題である。すべての会員が最適の健康状態で就業できる体制作りを推進し、安全第一を念頭に掲げる。

- (1) 事故撲滅を目指し、会員による安全意識高揚の充実継続に努める
- (2) 安全就業基準の遵守と啓発、安全講習会の実施
- (3) 就業現場巡回指導安全パトロールの推進拡大

4. 地域就業機会創出・拡大事業、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の推進

事業拡大推進と地域社会活性化を目指し明るく活力に満ちた高齢社会を確立するために、地方公共団体・地域団体等と連携体制を構築し自立推進的な事業に取り組み、地域のニーズに十分に答えられるように各種交流事業等の充実推進を図り、会員や地域住民等の積極的参加と創意工夫をこらしながら世代間交流活動等を行う。また、派遣事業の推進を図り会員拡大に取り組み、事業所等との連携を更に深め事業活性化を目指す。